



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 三洋工業株式会社
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 菊地 政義
 (氏名) 園田 崇之
 配当支払開始予定日

TEL 03-5611-3451
 2019年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,572	1.7	204	—	290	—	148	—
2019年3月期第2四半期	11,376	2.8	△108	—	△28	—	△127	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 155百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	43.88	—
2019年3月期第2四半期	△37.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	23,956	14,695	61.3	4,332.47
2019年3月期	24,904	14,692	59.0	4,331.73

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,695百万円 2019年3月期 14,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当30円 記念配当15円
 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円 記念配当15円
 詳細は、2018年6月12日発表の「創立70周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	4.6	1,200	35.8	1,250	21.4	750	△8.1	221.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,520,000 株	2019年3月期	3,520,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	128,158 株	2019年3月期	128,158 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,391,842 株	2019年3月期2Q	3,434,854 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月～2019年9月)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、さらには相次ぐ甚大な自然災害の影響などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く建築業界におきましては、2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピック関連の工事が終盤に差し掛かるなど堅調な動きが見られる一方、民間住宅投資においては貸家が減少し、非住宅投資では店舗や工場が着工減になるなど、建築需要は総じて弱含みの傾向で推移いたしました。

こうした市場環境の中で当社グループは、新中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」(2019年度～2021年度)に沿って、長期展望の柱となる「成長への改革」・「新商品の発掘」・「新ビジネスの構築」をさらに推し進め、安定的な利益確保と持続的な成長を目指した基盤体制の強化に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、オリンピック関連や足元の建築需要を取り込んだことなどから、全体の売上高は11,572百万円(前年同期比1.7%増)となりました。また、利益面におきましては、売上総利益率の改善や販管費の削減効果により、営業利益204百万円(前年同期営業損失108百万円)、経常利益においては290百万円(前年同期経常損失28百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は148百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失127百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、新設住宅着工戸数の落ち込み等を背景に、戸建住宅用製品が減少に転じたものの、豊富な品揃えにより地震対策用天井の受注が堅調に推移したことから、軽量壁天井下地全体の売上高は増加となりました。

また、床システムにつきましては、スチール製OAフロアや床仕上製品等が伸長しましたが、集合住宅用の遮音二重床製品や再生木材を利用したデッキフロア、及び置敷式OAフロア等が低迷したことから、床システム全体の売上高は減少となりました。

アルミ建材につきましては、手摺やルーバー等の受注が低調に推移しましたが、主力製品であるアルミ笠木やエキスパンション・ジョイントカバー、及びスパンドレル等が好調であったことから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は9,704百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益は187百万円(前年同期セグメント損失83百万円)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム子会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品や床関連商品を中心に設計指定活動を通じてその拡販に努めてまいりました。首都圏の子会社においては、オリンピック関連の受注もあり好調に推移しましたが、一部地方の子会社においては、厳しい市況や工期遅延等の影響を受け、業績が低迷いたしました。

この結果、システム子会社全体の売上高は2,130百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント損失は99百万円（前年同期セグメント損失106百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高350百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期セグメント損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ948百万円減少し、23,956百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ951百万円減少し、9,261百万円となりました。

純資産は、配当金の支出があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益148百万円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、純資産合計は14,695百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,423百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,387百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,009百万円（前年同期は292百万円の獲得）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益263百万円、減価償却費271百万円、売上債権の減少額3,244百万円、たな卸資産の増加額982百万円、仕入債務の減少額1,509百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は57百万円（前年同期は2,190百万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出105百万円、保険積立金解約による収入63百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は436百万円（前年同期は1,487百万円の獲得）となりました。

これは、主に短期借入金の純借入額600百万円、配当金の支払額151百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2019年4月1日から2020年3月31日）の連結業績予想につきましては、2019年5月10日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,085	4,473
受取手形及び売掛金	10,045	6,801
商品及び製品	2,037	3,004
仕掛品	128	122
原材料及び貯蔵品	660	680
その他	61	76
貸倒引当金	△60	△50
流動資産合計	15,958	15,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,920	2,832
機械装置及び運搬具（純額）	569	540
土地	2,876	2,876
その他（純額）	234	287
有形固定資産合計	6,601	6,536
無形固定資産		
ソフトウェア	346	284
その他	26	25
無形固定資産合計	372	310
投資その他の資産		
投資有価証券	561	556
繰延税金資産	112	164
退職給付に係る資産	26	84
その他	1,295	1,216
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,972	1,999
固定資産合計	8,946	8,847
資産合計	24,904	23,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,091	5,581
短期借入金	1,074	1,674
未払法人税等	272	164
賞与引当金	381	215
役員賞与引当金	17	8
その他	1,003	1,221
流動負債合計	9,840	8,866
固定負債		
長期借入金	12	7
繰延税金負債	3	7
退職給付に係る負債	39	39
その他	316	339
固定負債合計	371	394
負債合計	10,212	9,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	11,828	11,824
自己株式	△291	△291
株主資本合計	14,465	14,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	207
退職給付に係る調整累計額	26	25
その他の包括利益累計額合計	226	233
純資産合計	14,692	14,695
負債純資産合計	24,904	23,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,376	11,572
売上原価	8,412	8,370
売上総利益	2,963	3,201
販売費及び一般管理費	3,072	2,997
営業利益又は営業損失(△)	△108	204
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
受取賃貸料	55	71
売電収入	25	24
その他	25	28
営業外収益合計	115	133
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	19	34
売電費用	13	11
その他	1	0
営業外費用合計	35	47
経常利益又は経常損失(△)	△28	290
特別損失		
固定資産除却損	2	11
投資有価証券評価損	-	15
特別損失合計	2	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31	263
法人税等	95	115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127	148
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127	148

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	7
退職給付に係る調整額	15	△1
その他の包括利益合計	12	6
四半期包括利益	△115	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115	155
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31	263
減価償却費	245	271
投資有価証券評価損益(△は益)	-	15
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△60
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△116	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△144	△165
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△9
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	1	1
固定資産除却損	2	11
売上債権の増減額(△は増加)	2,835	3,244
たな卸資産の増減額(△は増加)	△426	△982
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,697	△1,509
未払消費税等の増減額(△は減少)	△132	△19
その他	93	229
小計	564	1,272
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△279	△270
営業活動によるキャッシュ・フロー	292	1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	-
定期預金の払戻による収入	50	-
有形固定資産の取得による支出	△2,170	△105
無形固定資産の取得による支出	△22	△10
固定資産の除却による支出	-	△1
保険積立金の解約による収入	7	63
その他	△3	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,190	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,185	1,185
短期借入金の返済による支出	△585	△585
長期借入金の返済による支出	△4	△4
配当金の支払額	△102	△151
その他	△5	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,487	436
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△411	1,387
現金及び現金同等物の期首残高	3,754	3,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,343	4,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(重要な後発事象)

2019年10月に発生した台風19号の影響により、当社東北支店及び仙台工場並びに連結子会社の(株)三洋工業東北システムにおいて複数箇所に浸水があり、製商品等の保有資産の一部に被害が発生いたしました。この損害額に関しては現在調査中であります。